



2025 年コーポレート・シティズンシップ・レポート
エグゼクティブ・サマリー



TEXAS INSTRUMENTS

2025 年のハイライト

私たちは TI 従業員の育成と包摂的な職場環境の構築、従業員の安全確保、環境に及ぼす影響の低減、地域社会への貢献に向けた取り組みを継続的に発展させました。

TI での仕事



世界各地にいる 33,000 人の優秀な TI 従業員は互いに協力し、半導体を通じてエレクトロニクスをより手頃な価格で提供することで、より良い世界を作り上げようとしています。

30 以上 人材育成と労働力に関するプログラムへの褒章

59 以上 TI 従業員あたりの平均学習時間

13 従業員リソース グループの数

持続可能な未来を作り上げる



TI はエネルギー、原材料消費量、水使用量、GHG (温室効果ガス) の排出量を減らすために、製造事業への投資を継続してきました。

41% スコープ 1 とスコープ 2 の GHG 排出量を削減 (2015 年との比較)

52% 購入した再生可能電力の割合

92% 廃棄物を埋め立て処分する代わりに転用

35% 再利用した水の総量、38 億ガロン (144 億リットル) 相当

より強力なコミュニティの構築



社員であることを個人的に誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社である、という TI の目標は、より強力なコミュニティを築き上げようとする TI の業務の指針になります。

6,200 万ドル

TI、TI Foundation (TI 財団)、従業員、退職者から寄せられた寄付額

250,000 以上

他者の支援を目的として、従業員と退職者がボランティア活動に費やした時間

コーポレート シティズンシップに対する TI のコミットメント



TI (テキサス・インスツルメンツ) は数十年にわたり、半導体によってエレクトロニクスをだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意をもって事業を運営してきました。世代ごとに、半導体技術の信頼性、手ごろな価格設定、低消費電力化は改善が進み、半導体製品を使用する顧客と市場の数は増加を続けてきました。私たちの情熱は今日も脈々と受け継がれ、より持続可能な未来を実現する新しいアプリケーションや電子機器の開発に活かされています。

しかし情熱だけでは十分ではありません。TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。長年にわたって、TI は 3 つの重要な目標を念頭に置いて事業を運営してきました。

- 私たちは、長い間会社を所有するオーナーのように行動します。
- 私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます。
- 私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

これらの目標は、TI の長期的な意思決定の指針となり、私たちの製品がより良い世界の創造に貢献することで、私たちの努力の結集はインパクトある長期的なものになると確信しています。

私たちは良き企業市民であることに誇りを持ち、私たちを取り巻くコミュニティや世界全体に以下の 2 つの形で影響を及ぼしています。

第一に、私たちの目標は TI の企業経営の指針を示すと同時に、持続可能で責任を持てる方法にて事業を確実に進めるための土台となっています。これらの目標の中心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という確信です。

第二に、より良い世界を築き上げ、環境に及ぼす影響の低減に役立つ手段として、半導体は重要な役割を果たします。

エンジニアとして、私たちは幸運にも、お客様がより良い世界を創造するためのイノベーションを支援するエキサイティングな技術に携わることができます。技術は当社の基盤であり、当社の半導体製品は電気自動車やエネルギー貯蔵システム、再生可能エネルギーアプリケーションなど、多くのサステナブルテクノロジーの開発の核となっています。

私たちは、責任を持って持続可能な手段で製品を製造する方法を継続的に改善しています。2025 年には、私たちは 2020 年に設定した GHG 排出目標を超え、再生可能電力の 3 段階のマイルストーンの最初のひとつである、当社の 300mm の製造事業への 100% の再生可能電力の使用を達成しました。

TI 従業員がいかに自分たちのために安全な職場環境を確保し、お客様のために革新的な技術とアプリケーションを創造し、製造能力を拡大して需要を満たし、時間を割いて地域社会の改善に貢献したかに、私は感銘を受けています。

私たちは長期的に会社を所有するオーナーのように考え、絶えず変化を続ける世界に適応し成功を収め、TI のステークホルダーに誇らしく思われるような行動に努めます。これらの目標に継続的かつ誠実に取り組む TI に期待してください。私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、顧客、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも勝者になることができます。

Haviv Ilan (ハビブ イラン)
会長、社長、最高経営責任者(CEO)

コーポレート シティズンシップに対する TI のアプローチ

TI は良き企業市民であることに大きな誇りを持っています。これまでと同様、TI のコーポレート シティズンシップレポートは、TI の事業に関連する ESG のさまざまな分野で TI がどのように考え、どのように行動しているか、を明らかにしています。

2006 年以来、年次コーポレート シティズンシップレポートとして、TI はプログラムに関する情報、複数の目標、各目標の進捗状況、関連データを公開してきました。その中で、良き企業市民の立場を維持するためのコミットメントの一環として、職場環境への取り組み、自然環境の維持、ビジネス慣行、コミュニティに及ぼす影響を重視してきました。

TI の 2025 年コーポレート シティズンシップレポートは、TI の事業に関連するさまざまな分野で TI がどのように考え、どのように行動しているか、という洞察を明らかにしています。こうしたレポートは、GRI (グローバルレポーティングイニシアチブ)、SASB (サステナビリティ会計基準審議会) の半導体基準、IFRS (国際財務報告基準) のサステナビリティ開示基準、CDP など、世界的に認識されている報告基準やフレームワークに準拠して作成しています。

当社の情報は、オンライン [TI.com/citizenship](https://ti.com/citizenship) で開示しています。

職場環境

TI にはワールドクラスの優れた社員がいます。これらの問題解決者を Tlers、つまり TI 従業員と呼んでいます。彼らは熱心に課題に取り組み、エレクトロニクスの将来を描いています。

TI には、半導体を通じてエレクトロニクスをより低コストで入手できるようにして、より良い世界を築き上げるという熱意があります。

真空管からトランジスタへ、さらに IC (集積回路) へと世界が移り変わる際に、TI は先駆者として行動してきました。また、数十年にわたって IC のテクノロジーを進歩させ、信頼性の高い方法で IC を大量生産する能力を実証してきました。

各世代の革新は、それより前の世代を土台として、技術の小型化、効率と信頼性の向上、低コスト化に貢献しています。コネクテッドカーからインテリジェントホーム、医療機器やスマートフォンに至るまで、身の回りの多様な製品の内部で、TI の革新は機能を果たしています。

TI の価値基準

信頼性、包括性、革新性、競争力、成果志向に対する TI の価値基準は、**私たちが何者であるか**、そしてどのように行動すべきかを定義するものです。これらの原理原則によって、より強く会社を成長させることができます。

TI での仕事

業界で最高クラスの能力と創意工夫、成功実現力のある人材を採用し、雇用を継続することが、TI の成長と発展を左右します。

従業員は、次のような理由で TI を選択しています。

- 入社したその日から能力を発揮できる刺激的でやりがいのある仕事。
- 問題解決に力を尽くして未来を形づくる人々と協力し合う機会。
- 誰もが考えやアイデアを自由に発言できる包摂的な文化。

TI でのキャリア形成

TI は、社内の人材に投資しています。従業員それぞれのスキルと関心に合った柔軟なキャリアパスを用意することで、従業員のキャリアの長期的成功を支援します。

TI では、新入社員からベテラン社員まで、すべての TI 従業員が影響力を高め、常に向上心を持てるよう、体系的な学習と能力開発の機会を組織内のすべての階層で提供しています。従業員はいつでも、雇用とラーニングに関する社内のシステムにアクセスし、職業経験の探索や能力開発パスの図式化、または必須のトレーニングモジュールや他のラーニングモジュールを修了することができます。2025 年の TI 従業員の平均学習時間は 59 時間でした。

従業員リソース グループの数

TI の従業員リソースグループ (ERG) が提供するコミュニティは、開かれた対話や教育、ボランティア、福利厚生を通じて、帰属意識の向上に寄与しながら、専門的な人材開発の機会と会社規模で影響を与える取り組みによる、積極的な事業成果の達成にも注力しています。

世界各地の ERG とその地域支部が一体となって、従業員にとって重要なトピックについて教育し、その重要性を高める役割を果たしています。どのネットワークも、すべての TI 従業員に対して開放されています。

充実した福利厚生

TI は、最良の福利厚生、プログラム、サービスを TI 従業員やその家族に提供しよう努めています。

TI の福利厚生プログラムは、TI 従業員それぞれの固有のニーズを重視しながら、現地の法規制に遵守して構成されています。米国における TI の福利厚生について詳しくは、TI.com で最新の [Benefits and Insurance Guide \(福利厚生・保険ガイド\)](#) をご覧ください。



インパクトある未来を設計する

教育への投資や環境負荷の低減から、人材の育成、業界トップクラスの安全実績の維持まで、私たちは企業市民としての影響力を強化し、より良い世界の創造に取り組んでいます。

当社の成功は、優秀な人材の確保と定着に支えられています。当社は、社員が自らの将来に希望を持ち、十分な成長機会を得ながら、世界最大級のエンジニアリング課題に挑む問題解決者たちと共に働ける環境づくりを目指しています。



環境への取り組み

TI は良き企業市民であることに大きな誇りを持ち、持続可能な製造と環境に対する責任に長年取り組んできました。

特に半導体の使用量が増大を続ける中、高まる需要に対応することを目的として、ほぼ 20 年にわたって環境持続可能性に関する戦略を長期的な生産能力計画に整合させてきました。

毎年数百億個のチップを製造する半導体メーカーとして、TI は製造プロセスの効率改善を最優先課題としています。TI はまた、複数年にわたる環境維持に関する目標を設定しています。これは、革新と環境管理のバランスを取ることを目指す取り組みの指針となるものです。

持続可能性に向けた TI の取り組み

TI は、技術と持続可能性が調和した未来の創造に取り組んでいます。毎年、環境への悪影響を軽減することを目的として、世界各地の製造拠点全体でさまざまなプロジェクトに投資しています。

米国では、複数の最先端 300mm ウェハ製造工場の建設が着々と進行しています。または、すでに増産に貢献しています。こうした最先端設備を備えることで、原材料、エネルギー、水を節約しながら、ウェハあたりのチップ生産量を増やすことができます。

TI は 1,845,316 MWh の再生可能電力を 2025 年に購入しました。2024 年から 120% 増加しています。これは 300mm ウェハ製造工場に 100% 再生可能電力を使用するという目標を満了し、2030 年末までに世界的に 100% 再生可能エネルギーを使用するという目標に向かい、52% の到達に貢献しました。

こうした取り組みは、当社の事業とサプライチェーン全体の世界的なエネルギー消費と GHG 排出量のさらなる削減に向けた、包括的な対策の一環です。

資源管理

環境持続可能性と気候関連のリスクは、TI の現在の事業の行い方と、将来の計画に影響しています。半導体製造業は重要な資源であ

る鉱物、水、電力に依存しており、それを責任を持って使用することが極めて重要となります。

私たちは環境への影響を最小化し、回復力の強化に投資しながら、水不足、極端な天候事象、配電網の緊迫、事業やサプライチェーンを乱す可能性のあるその他のリスクといった世界的な課題の解決に、前向きに取り組んでいきます。

2025 年の主要プログラムのハイライト:

- 全世界の拠点において効率化プロジェクトを完了し、106,215 MWh のエネルギーを節約。
- 高度で大規模な水資源再利用と削減プロジェクトにより、水資源の保護量を約 4 倍に拡充。1,126 億ガロン (4,262 億リットル) の水資源を節約しました。2024 年から 16% の減少です。また私たちは排水再利用インフラと処理技術に継続的に投資して、水資源利用率を 35% に伸ばしてもいます。
- 総合的なリサイクルと再利用プログラムを通して、通常は埋立地に廃棄する材料の 92% を転用しました。またそれ以外の産業においても、26,216 メートルトン (56%) の原材料を再利用しています。
- 再生可能電力の開発事業者と長期契約を締結して、クリーンエネルギーへの安定したアクセスを確保し、再生可能電力の使用目標を推進できるようになりました。

こうしたプログラムを推進して、TI は過去 5 年の間に、スコープ 1 とスコープ 2 の GHG 絶対排出量の 41% 削減¹、約 1,134 億ガロンの水の節約、従来は埋立処理していた廃棄物の約 245,732 メートルトンの転用を実現しました。

こうした取り組みを通じて、TI は継続的に革新と投資に取り組み、より持続可能な未来への道を先導していく構えです。

TI は 2030 年に向けて新たに科学に立脚した目標を設定

2025 年末時点の最新の環境持続可能性目標の結果、2030 年までの当社の事業を先導し続ける、新しい野心的な目標を導入しています。

2026 年の早い時期に、TI は Science Based Targets イニシアチブ (SBTi) から GHG 排出量の削減目標の妥当性確認を受け取りました。当社の科学に基づく取り組みには、スコープ 1 と 2 の GHG 絶対排出量を 2023 年比で 2030 年末に 42% 削減し、購入した商品やサービス、資本財、燃料やエネルギー関連の活動から生じるスコープ 3 の GHG 絶対排出量を同じ期間内に 25% 削減することが含まれています。

この目標の堅持が当社の目下の取り組みであり、2030 年末までに全世界での業務で 100% の再生可能電力の使用を目指しています。

¹ TI は 2020 年、2015 年を基準年として、スコープ 1 とスコープ 2 の GHG 絶対排出量 (総量) を 25% 削減するという目標を設定しました。
テキサス インストルメンツ

責任ある事業慣行

TI の目標と価値基準は、会社をより強くするために不可欠であり、それらの原則を支持し、持続性と責任のある業務慣行を TI のサプライ チェーン全体で推進するうえで、TI 従業員全員が重要な役割を担っています。

TI は、長期的な成功を達成するには優れたコーポレート ガバナンスが重要であると確信しています。1973 年以来、TI は文書化した**ガバナンス ガイドライン**を使用しており、会社と株主のニーズに合わせて長年にわたって改正を実施してきました。

TI の価値基準は、TI をより強力なものにするために不可欠であり、私たちは定められた原則を遵守することで、責任ある倫理的なビジネス慣行を体現します。TI では、これを TI の目標、価値基準、行動規範を含めた **Living Our Values** (TI の価値基準に基づく行動) と呼んでおり、この基準に従って日々事業を進めています。

すべての TI 従業員はこれらの原則を支持する上で重要な役割を果たし、リーダーの関与や従業員の参加とトレーニングを通じて会社の強化を進めることができます。TI は、従業員 1 人 1 人が行動規範について理解することを期待しています。この行動規範は、TI の目標や価値基準を、私たちが支持する必要のある基準へと作り替え、私たちが許容することのない言動を明確に提示することになります。



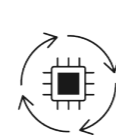
さらに、TI は事業全体と**グローバル サプライ チェーン**全体における責任ある倫理的慣行を推進するために投資しています。これには、ビジネス、労働、人権、環境リスクに対処するだけでなく、当社製品に使用される鉱物が倫理的に調達されたものであることを確認することが含まれます。

品質と信頼性

品質に関する TI の総合的なアプローチは、会社のサプライ チェーンのあらゆる段階に浸透しており、プロセス技術や設計から、製造、パッケージング、試験、納入までを網羅しています。TI は、顧客のニーズに適した高品質で高信頼性の半導体ソリューションを提供できるように、製品とプロセスのテクノロジーを継続的に向上させていきます。

このように品質基準を高く維持していることから、TI は ISO 9001、ISO 14001、ISO 45001、IATF 16949 (自動車品質管理の国際規格)、UL (米国保険業者安全試験所) 規格など、数多くの **ISO 認証および品質管理認証**を取得しています。

サプライ チェーンの責任

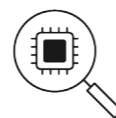


TI は、責任ある体制と公正な業務慣行がサプライ チェーン全体に浸透するように、これらに関してサプライヤーが TI と同じ取り組みを行うことを要求します。TI の**サプライヤー行動規範**は、労働環境が安全であること、労働者が敬意と尊厳を持って扱われること、事業運営が環

境に責任を持った倫理的な方法で遂行されることを確保するための基準を確立しています。

TI は、自社、業界、自社のサプライ チェーン全体で人権を尊重するために、ベスト プラクティスとプロセスを採用し、適用しています。TI は、グローバル サプライ チェーンにおける企業の社会的責任に取り組む世界最大の業界団体である RBA (責任ある企業同盟) のメンバーです。TI は **RBA 行動規範**を採用し、それをサプライ チェーン全体の取り組みとして捉えています。

リスク管理



TI は事業の継続性、成長、収益性を確保するため、サイバー攻撃、自然災害、地政学的課題、サプライ チェーンの混乱など、新たに発生し得るリスクを積極的に監視して、問題に対処するための準備態勢を備えています。この規律あるアプローチにより、複雑な状況に対応しながら、高い信頼性をもって顧客への供給を維持することができます。

実際の出来事に対する対応の習得、調整、改善を実現できるように、TI の事業継続性と緊急対応計画は、現実的なシナリオを想定し、さまざまな訓練を通じてリーダーシップ チームに指針を示していま

す。TI の事業継続マネジメント フレームワークは、ISO 22301 の事業継続マネジメント規格に基づいてモデル化したもので、事業の中断に対して、TI が対策の計画立案、実現、監視、保護を実施するのに役立ちます。

情報保護



TI のリスク管理プロセスは、ISO、NIST (米国国立標準技術研究所)、CIS (インターネット セキュリティ センター) の統制などのベスト プラクティス管理手法やガバナンスの枠組みに基づいています。TI はこの取り組み

を**製品セキュリティ**にも導入し、さまざまな規制や基準に準拠した安全な最終製品を顧客が構築できるように支援しています。

エシックスおよびコンプライアンスの報告

TI 従業員には、目標、価値基準、行動規範、方針のいずれかに相いれない行動を目撃した場合に、そのことを報告する責任があります。マネージャまたは人事担当者に話すか、TI エシックス部門に直接または匿名で連絡を取ることができます。

直接の連絡先:

- E メール ethics@ti.com
- 私書箱宛の郵送 Box 830801, Richardson, TX 75083-0801

匿名ヘルプライン:

- オンライン アクセス先 ti.com/tiethicshelpline
- 米国内の無料通話: 1-888-590-5465

コミュニティに及ぼす影響

TI と TI Foundation は数十年にわたって、当社が事業を展開している世界各地のコミュニティをより発展させるために取り組んできました。



TI と TI Foundation² は、慎重に検討した適切な測定に基づいて投資を行い、寄付やボランティア プログラムへの TI 従業員の参加を促進することで、世界各地のコミュニティの生活の質を強化および向上させることに取り組んでいます。

より強力なコミュニティの構築

TI の 3 つの目標のうちの 1 つは、社員であることを誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社であることです。資金の投資と従業員の関与を組み合わせることで、その影響力を最大化できると TI は確信しています。

TI Foundation の活動を通じて、主に TI 本社周辺を視野に入れながら、教育に主眼を置いて、公正なコミュニティを繁栄させる上で重要となる分野の生活の質の向上を推進することを目指しています。私たちは、実績のあるプログラムを優先的に支持する一方で、大きな影響をもたらす可能性がある革新的なアイデアも検討の対象としています。成果を挙げるべくすべての投資を評価、測定し、私たちが資金を提供するプログラムの公平性と包摂性を確保する措置を講じています。

2025 年、TI と TI Foundation は 6,180 万ドルを超える助成金、マッチングギフト、現物寄付を行いました。これには、数十年にわたる世界的コミュニティの生活の質向上への当社の注力が反映されています。

TI Foundation は 1964 年の設立以来、教育を慈善事業の最優先事項に据えてきました。これには、STEM (科学・技術・工学・数学) 教育のニーズが大きいにもかかわらず、機会の少ないノース・テキサス学区を支援する助成金が含まれています。数学的問題や科学的問題を解決するための論理的思考には、STEM 分野の教育、学習、応用が必要ですが、この資金は、教師を訓練し、学生の能力を高めるうえで極めて重要な役割を果たしました。

2025 年には TI Foundation は 820 万ドルの助成金を拠出し、北部テキサス全域とユタ州において STEM 教育と学習機会を拡充しました。この助成金は、学習意欲に満ち、STEM 技能を応用する優れた教師と生徒を生み出すプログラムへの、長年にわたる戦略的投資の上に成り立っています。

2025 年度のその他の助成金には、TI による芸術擁護の長期間の遺産に基づく、ダラスのさまざまな芸術組織への 150 万ドルの助成金や、North Texas Food Bank、Resource Center、United Way of Metropolitan Dallas など、支援を必要とする近隣の組織にも 270 万ドルを拠出し、北部テキサスの生活の質に影響を与える重要な領域の対処に貢献しています。

マッチングギフト

TI は、世界各地における寄付やボランティア活動の機会を通じてコミュニティに関与することを奨励しています。米国では、TI Foundation が従業員や退職者の寄付 (寄付金や時間) に対して同額の金額を上乗せして寄付するマッチングギフトを行っています。適格な団体への寄付の場合は金額ベースで最大 3 万ドル、ボランティア活動の場合は費やした時間の価値として年間最大 1,000 ドルを上乗せして寄付しています。2025 年に、TI Foundation はマッチングギフトとボランティア活動で、1,290 万ドルを提供しました。

ボランティア活動

TI の従業員には、自らが活動するコミュニティに貢献し、生活の質を向上させるという熱意があります。TI には世界中に 20 以上の、従業員主導によるコミュニティ参画チームがあります。

2025 年には、当社の従業員と退職者がボランティア活動に 251,000 時間以上を費やしました。その価値は 870 万ドルに達しています。³



世界中の TI 従業員が 2025 年、Season of Impact に集結

ボランティア活動、寄付、サービスに費やす時間はすべて、私たちが生活し働くコミュニティに真の変革をもたらします。

思いやりと目的を存分に示しながら、世界中の TI 従業員が毎年恒例の Season of Impact に集結し、腕まくりしてコミュニティの変革に取り組んでいます。良き隣人としてより強固なコミュニティを創り上げることは、口先ではなく、行動で達成することなのだを証明しています。

この Season of Impact は、目的が行動に結びついたとき、思いやりで満たされた個人の行動が大陸を超えて増幅し、世界的なコミュニティの屋台骨を強化する、積極的な変革のうねりを生み出すときに何が起るかを示しています。



² TI Foundation は、TI の 501 (c) (3) 慈善団体です。寄付金は、米国内、主に TI 本社付近でのみ支給されます。

³ 個別の活動分野におけるボランティア 1 時間分の最新の価値は 34.79 ドルでした。

将来見通しに関する記述の注意事項

この通知には、実行可能性の予測や環境維持に関する当社の目標が及ぼす影響に関する声明を含め、1995年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図した「将来見通しに関する記述」が含まれています。一般的に、これら将来見通しに関する記述は、TIとその経営陣による、「will」（見込み）、「believes」（確信する）、「expects」（期待する）、「anticipates」（予測する）、「foresees」（予見する）、「forecasts」（予期する）、「estimates」（推定する）、またはその類似語句から識別できます。同様に、TIの事業戦略、見通し、目的、計画、意図、目標に関する記述は、将来の見通しに関する記述です。将来の見通しに関する記述はいずれも特定のリスクや不確定要素を含む可能性があり、実際の結果が予測と大きくかけ離れる可能性があります。これらの要因に関する詳細な説明については、SECが保管している2026年第1四半期のForm 10-Qに記載されている「risk factors」（リスク要因）の説明をご覧ください。この通知に含まれている「将来の見通しに関する記述」は、この通知を作成した時点で作成したものです。TIは、その後の出来事や状況を反映する目的で、「将来の見通しに関する記述」を更新する義務を負いません。